

取 扱 説 明 書

小学校 3 年生
以上推奨

みんなすご

～わたしの見方、
あなたのミカタ～

みんなのすごろく

略して「みんなすご」
多様性理解の
「きっかけ」づくりの教材です

授業や参観日等で活用できる！

気づきを
話す

一緒に
考える



「校内研修」から活用できる！

子ども理解の
一助として



学級 PTA 等にも
活用できる

語りマスのデータが変更できる！

Excel で
簡単に変更！



オリジナルマス
も作成可能



は じ め に

全ての人々が社会の一員として互いに尊重し、支え合いながら、共に生活する「共生社会」の実現が目指されています。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会でもあります。

このような社会の実現を目指すためには、学校において、多様な見方や考え方に気付かせたり、集団の中でお互いを尊重し合う態度を育んだりする取組を進める必要があります。

このすぐろくは、そうした取組の一助となることを願って作成しました。教材名の「みんなのすぐろく」には、すべての人が参加でき、一人一人の個性が生かされ認められるようにという思いを込めています。すぐろくのマス目には、おもに学校での生活場面から子どもたち一人一人の個性やさまざまな価値観、考え方等に関する問いかけを設定しています。この問いかけをきっかけとして、対話を促すことで、子どもたちが自他の個性や多様な在り方等について気付き、考えていくことができるようにしています。一部の問いかけは入れ替えることができますので、子どもの実態に応じた配慮や工夫のもと、実施することができます。

校内研修でも活用できますので、教師自身の学びや気付きに加え、同僚性の構築にもお役立てください。

本教材が多くの学校で活用されることで、すべての子どもたちが、誰一人取り残されことなく、互いの価値を尊重し、それぞれの能力を最大限に伸ばせる取組が進んでいくことを期待しています。

※この教材は、岡山県総合教育センターが実施した令和5年度次世代リーダー養成研修講座プロジェクト研究 C チームの提案「なんとなくわかるけど多様性って？～子供たちと一緒に心を開くリーフレット～」をもとに作成しました。

1 準備物

- ☐ すごろく盤(A3 印刷)
 - ☐ 「語りマス」カード(A4 印刷)
 - ☐ 振り返りシート
 - ☐ さいころ(目が1～6のもの)
 - ☐ コマ(お好みのものを各自で準備してください)
- 「みんすご」ファイル(Excel)で印刷
ファイルデータあり

2 準備物について

(1)すごろく盤(A3 印刷 下図)

- ・「止まれ STOP」の表示がある①～④のオレンジ色のマスを「語りマス」といいます。このマスには印刷時に4つの問いかけがあらかじめ設定されています。このマスは、子どもの実態等に応じて入れ替えることができます。
- ・語りマスには次の A～C の3種類(段階)があります。A～C の分類は、「みんすご」ファイル(Excel)の「語りマスデータ」タブで確認できます。

- A : 授業等で一般的に使用できることが想定されるもの。
※児童や学級の実態等に配慮し、適宜入れ替えてください。
- B : 授業等での使用に当たっては特に配慮が必要と考えられるもの。
- C : 校内研修等で使用できると想定されるもの。

- ・盤面は次の2種類から選ぶことができます。

「語りマス」埋め込み式

- Excel データ内で「語りマス」カードを選んで盤面に埋め込み、印刷します。
- 盤面が動いても語りマスがずれることはありません。
- 使用する 4 枚の語りマスのみ印刷して使います。

「語りマス」置き換え式

- 語りマスカードは盤面になく、印刷した中から選んで盤面に配置します。
- 盤面とすべての語りマスカードを印刷すると、用途に合わせた組み合わせで使えます。

※右の画像は語りマス埋め込み式です。

埋め込み式ではダウンロード時には、
No.1～4のカードを設定しています。

※みんすごファイル(Excel)の

詳しい使用方法是 P.4 で説明します。

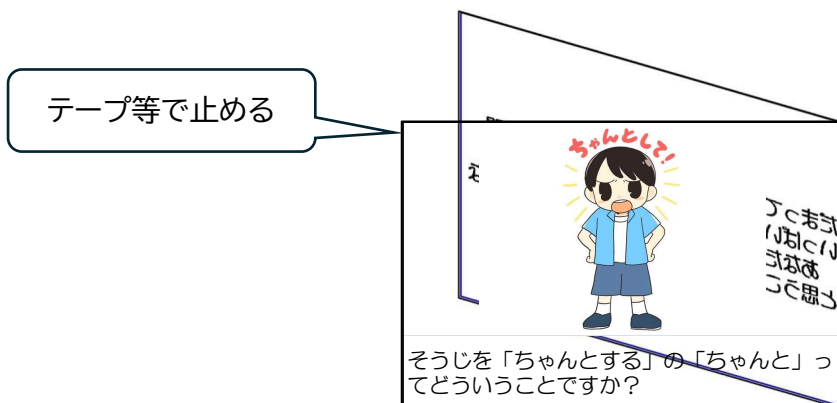
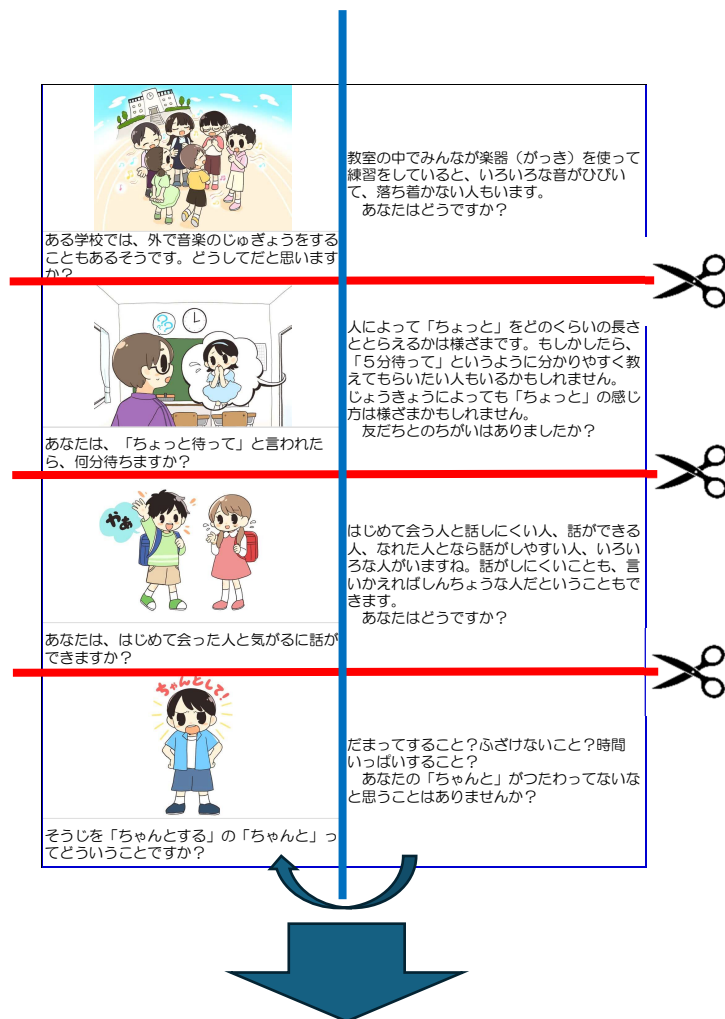


(2)「語リマス」カード(A4)

①片面印刷をします。

- ・埋め込み式は使用する 4 枚の語リマスカードを印刷します。
- ・置き換え式はすべての語リマスカードを印刷します。

②赤線で切りはなし、青線で山折りをし、テープ等でとめ、両面のカードにします。



3 実施までの流れ

各種データのダウンロード

・「みんすご」ファイル(Excel) ・取扱説明書(PDF) ・振り返りシート(PowerPoint)

使用する盤面の決定 ・「みんすご」ファイル(Excel)

「埋め込み式」

- ・盤面に語りマスが入っている状態ですごくを行う。
- ・すごろく盤面から語りマスがずれない。
- ・印刷物が少ない。

「置き換え式」

- ・盤面の語りマスは空欄。語りマスカードを選んで配置する。
- ・一度すごろく盤面を印刷すると語りマスを様々な組み合わせにできる。

最初に「埋め込み式」を校内研修等でダウンロード時の設定のまま実施していただくと、「みんすご」のねらいや使い方の理解につながります。

「語りマス」の選定

- ・学級や子供の実態に合わせ、学年等でしっかり協議した上で選定する。(A、Bの指定を参考にする)
- ・盤面にはA、Bのカードが混在してもよい。
- ・オリジナルの語りマスの作成もできます。

「埋め込み式」をそのまま使う

- ・ダウンロード時、「語りマス」にはA指定のNo.1～4が設定されている。
- ・「語りマス」の裏面は、盤面には埋め込まれないので、使用するNo.1～4の「語りマス」を印刷し、P.3に従い準備する。

「埋め込み式」で組み替える

- ・「みんすご」ファイル内で組み替える。
- ・「語りマス」の裏面は、盤面には埋め込まれないので、使用する「語りマス」を印刷し、P.3に従い準備する。

「置き換え式」で組み替える

- ・「語りマス」カードをすべて印刷し、P.3に従って準備する。
- ・「語りマス」の配置はあらかじめ教員が決めておいても、すごろく開始時にグループごとに自由に決めてもよい。

Let's play みんすご！

4 「みんすご」ファイル(Excel)の使用方法

(1) タブについて

① すごろく盤(「語リマス」埋め込み)

「語リマス」埋め込み式の盤面の印刷ができます。「語リマス」の選択は、このシート内で行います。

② すごろく盤(「語リマス」置き換え)

「語リマス」置き換え式の盤の印刷ができます。「語リマス」は「③「語リマス」印刷」で印刷をし、配置します。

③ 「語リマス」印刷

「語リマス」の印刷ができます。印刷画面で必要なマスが含まれるページを選択して、印刷します。「語リマス」埋め込み式で埋め込んだ「語リマス」は、印刷ページの7ページにあたる場所に4つ並んで表示されます。

※「語リマス」は印刷し、切り取った後、中央の点線で折って使ってください。

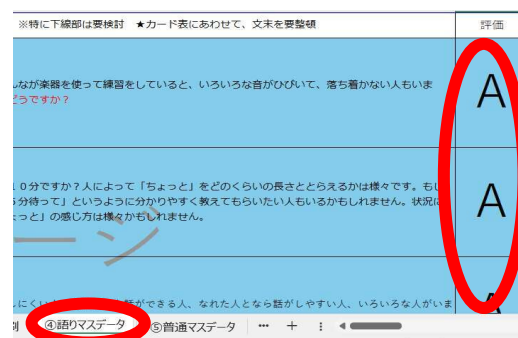
「語リマス」のサイズは必要に応じて調整してください。

④ 「語リマス」データ(右図)

「語リマス」のデータの変更、作成、分類確認ができます。
“①すごろく盤(「語リマス」埋め込み)”と、“③「語リマス」印刷”は、このシートのデータから自動参照されます。
※オリジナル「語リマス」の作成は No.20～24 です。

⑤ 普通マスデータ

普通マス(水色)の文言は変更できます。学級や子どもの実態等に応じて変更して印刷してください。



(2) すごろくの盤面について

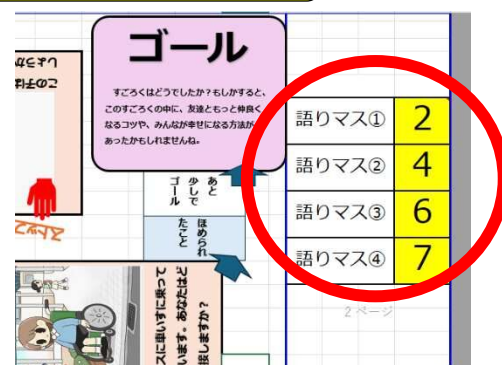
① 「語リマス」埋め込み式

- 「語リマス」は、「語リマス」①～④の右のセルに数字を入力することで自動で埋め込まれます。(右図)
(「語リマス」の数字は「語リマス」データシートの No.)
- 「語リマス」の裏面の説明は、すごろくには埋め込まれないので、カードは“「語リマス」印刷”シートで印刷します。印刷した語リマスカードはグループに配ります。

② 「語リマス」置き換え式

- すごろく盤面の「語リマス」には何も無い状態です。
- 「語リマス」はあらかじめ実施者が配置順を決めておくこともできますし、すごろく開始時にグループごとに自由に決めて配置することもできます。

Excel が 2023 年以前のバージョンの場合、すごろく盤への画像の埋め込みはできません。その場合、データ内の説明を参考に盤面を準備してください。



5 基本的な使い方・ルール

(1)進め方

- ① あらかじめ、すごろく台紙1つにつき3～4人のグループを作っておく。

例：40人のクラスの場合、グループ数10前後で行う。

グループの数だけセットを準備する。

- ② 〔埋め込み式〕語りマス配る。

〔置き換え式〕語りマスを盤面にセットする。

※「語りマス」の裏面はすごろくが始まるまで見ないように伝える。

- ③ グループごとに順番を決め、コマを「スタート」欄に置く。

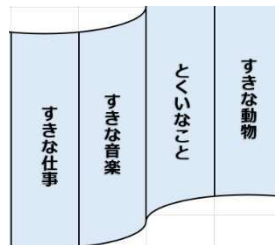
- ④ 最初の人サイコロを振り、出た目の数だけコマを進める。

- ⑤ マスの指示に従って、話し合う。

※答えにくい質問の場合には答えずにパスをしてもよいなど、授業者で適宜配慮する。

水色のマス

・止まった人が答える。他の人は理由などをたずねて交流する。



語りマス(オレンジ色のマス)

・最初に通る人は必ず止まる。

・止まった人から時計回りで順番に全員が答える。全員が話し終えたらカードを裏返し、止まった人が説明を読む。

・説明を読んだ後、思ったことや考えたことがあれば話し合う。

・同じ「語りマス」に二人目が止まっても話し合いはしない。また二人目以降にこのマスを通り過ぎる目が出た場合でも止まる必要はなく、出た目の数だけ進む。



- ⑥ 全員がゴールしたら終了。

・誰か一人がゴールすれば終了、早く終わったら2週目を行うなどしてもよい。

6 使用例

(1) 学習内容の位置づけ(例)

- 小学校学級活動
 - ・「(2)イ よりよい人間関係の形成」
- 小学校道徳
 - ・第3学年及び第4学年「B(10)相互理解、寛容」「C(12)公正、公平、社会正義」
 - ・第5学年及び第6学年「B(11)相互理解、寛容」「C(13)公正、公平、社会正義」

(2) 授業の進め方(例)

※45分授業の場合

① 説明(5分)(ねらいと目的、注意事項)

めあて(例)

- i すごろくをして自分のこと・みんなのことをもっと知ろう
- ii すごろくをして自分の見方・考え方、友だちの見方・考え方をくらべよう

注意事項(例)

- i 友だちの話は最後まで聞く
- ii 友だちの言うことを否定しない

② すごろく(25分)

③ 振り返り(5分)

④ シェアリング(グループ・全体で10分)

もっと話してみたいことや、気になったことを共有する。

授業の際に・・・

- ・「語りマス」を設定する際には、特定の児童生徒が想起されないかなど児童生徒や学級の実態に応じて配慮をお願いします。
- ・語り合いの中で出された内容には個人的なものも含まれる可能性があります。状況や内容によっては「この場限りとし、他の場では話さない」など、適切にご指導ください。

(3) 校内研修等

- ① (2)同様、すごろくに「語りマス(オレンジ)」を設定し、実施します。
- ② 「語りマス」カードのみを使用した、協議形式の研修も考えられます。